

# 《 用語 の 解 説 》

## ア 行

### 芦北七浦パークコースト構想

水俣・芦北地域の共通基盤である美しい海を守り育て活用することを統一テーマとして、リアス式海岸線を軸に、地域の自然的・歴史的・文化的資源や施設・事業を結びつけ、全体が一つの帯状の公園的環境（パークコースト）の形成を図るもの。

### N P O（Non Profit Organization = 民間非営利団体）

行政とは違った立場で、また、企業のような営利を主目的とせず自立的に経営されている組織。

## カ 行

### 環境アセスメント（環境影響評価）制度

開発行為を行う場合に、自然環境にどのような影響を与えるかを調査・予測をすることで、その結果に基づいて環境保全について適正に配慮しようとするもの。

### 90分構想

熊本県総合計画「パートナーシップ21くまもと」における施策の1つ。

県内各地域の発展を目指し、自動車交通により物流・人流の円滑化を図るため、熊本都市圏や熊本空港と県内主要都市とを90分で結ぶもの。これは、目的地において短時間の会議、商業・業務活動等については、移動時間を含め半日で済ますことを可能とすることにより効率性を高めるものである。（片道の所要時間を1時間30分とすると往復の移動時間が3時間となり、目的地での会議、交渉等に1時間確保できる。）

### グリーン・ツーリズム

都市市民が農山漁村において、自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。

### グローバル化

世界的規模に広がること。政治・経済・文化などが国境を越えて地球規模で拡大することをいう。

### ゲートウェイ

門戸。入り口。

## カ行

### 交通マネジメント (TDM : Transportation Demand Management)

道路交通円滑化の施策として、車の利用の仕方や生活の工夫によって自動車交通量を削減する道路の交通需要に関する管理のことで、TDMともいう。

具体的には、車の相乗りや効率的な物流システムの構築による自動車交通量の削減、時差通勤<sup>( )</sup>による交通需要の平準化

### 高度道路交通システム (ITS : Intelligent Transport Systems)

最先端の情報通信技術により、道路交通情報の提供、車両の自動走行、料金の自動收受のほか、歩行者の現在地や目的地までの誘導などを行う仕組み。

## サ行

### 時差出勤

地域あるいは企業内での出勤時間を分散化して通勤ピークを平準化する方法。

### 自動料金収受システム (ETC : Electronic Toll collection System)

有料道路の料金所で、停車せずに支払ができる方式で、ITS (高度道路交通システム) を生かした技術のひとつ。2001年 (平成13年) 3月から運用開始。

### 渋滞ポイント

主要渋滞ポイントの定義は、以下のとおり。

- |   |
|---|
| 一般道路 (DID内) ……ポイント (交差点等) に起因する渋滞延長が1,000m以上又はポイントの通過時間が10分以上の箇所。                         |
| 一般道路 (DID外) ……ポイント (交差点等) に起因する渋滞延長が500m以上又はポイントの通過時間が5分以上の箇所                             |
| 高速自動車国道 ……インターチェンジの出入口において、ボトルネック <sup>( )</sup> になっている箇所で、渋滞回数が30回/年以上又は平均渋滞延長が2km以上の箇所。 |

DIDとは ……人口集中地区の意味で、「市区町村の区域内で人口密度の高い (4,000人/km<sup>2</sup>以上) 調査区が互いに隣接して、その人口が5,000人以上となる地域」をいう。

## サ 行

### シリコンアイランド九州

集積回路を中心にした電子工場が集中する日本の半導体生産基地の九州をさす。

### セミコンテクノパーク

熊本県菊陽町、合志町に位置する総面積 9 5 h a の工業団地。(旧第 2 テクノパーク)

## タ 行

### トラフィック機能

人・物を目的地までいかに速く、快適に移動させることができるかという機能。

## ハ 行

### パーク&ライド

交通混雑を緩和するために、車を都市郊外の駐車場に止めて、公共交通機関に乗り換えて、都心部あるいは特定地域に入る方法。

### パブリックインボルブメント(P I)

公共事業等を実施する際に、計画策定に当たり、広く住民などの意見を聞き、その事業計画に反映させる住民参加のひとつの手法。

### パブリックコメント(P C)

行政機関による規制の設定・改廃に当たり、原案を公表して事前に意見や情報提供を求める制度。

本県においては、県民生活に関係の深い計画や条例などを県が策定する際に、案の段階で県民の意見を一定期間求めて、政策立案に反映させていく制度。

### バリアフリー

障害者や高齢者などの行動・生活上の障壁を取り除くこと。交通面では、段差のない歩道やノンステップバス等がバリアフリー施設となる。

### 1 5 0 分構想

熊本県総合計画「パートナーシップ 2 1 くまもと」における施策の 1 つ。

県勢の浮揚及び九州各県との交流促進を目指し、自動車交通により物流・人流の円滑化を図るため、熊本都市圏と九州各県主要都市とを 1 5 0 分で結ぶもの。これは、目的地において、移動時間を含め 2 日に渡らず 1 日で会議、商業・業務活動等を済ますことを可能とすることにより効率性を高めるものである。(片道の所要時間を 2 時間 3 0 分とすると往復の移動時間が 5 時間となり、目的地での会議、交渉等に 3 ~ 4 時間確保できる。)

## ハ 行

### プライベート・ファイナンス・イニシアティブ（PFI）

公共事業に民間資金を取り入れる手法。イギリスで社会資本整備を民間主導で行う仕組みとして導入され、我が国でも2000（平成12）年9月から「PFI推進法」が施行された。

### フレックスタイム制

自由勤務時間制。所定の労働時間内で、出退勤時間を自由に選択できる方式。

### ボトルネック

ビンの首の部分が水の流れを制限している様子から、道路が狭くなり車の流れの妨げとなっている区間

## マ 行

### マルチモーダル

効率的な輸送体系の確立と、良好な交通環境の創造を目指し、道路・航空・海運・水運・鉄道など複数の交通機関の連携を図ること。

## ヤ 行

### ユニバーサルデザイン

「すべての人のためのデザイン」といい、年齢、性別、国籍（言語）や障害の有無等に関係なく、最初から誰もが利用できる製品、建物や環境のデザインを意味する。また、今日では、情報、サービスやコミュニケーションも含む「すべての人が生活しやすい社会のデザイン」といったより広い概念として使われている。

## ラ 行

### リーディング産業

先導産業、主導産業。国や地域の経済成長の中核となる産業。

### ローカルルール

地域特性に応じ、道路として提供すべきサービス水準を独自に設定することで、それに基づいた道路の構造として整備を行う。